



# LONGIN

*We create in Tokyo Japan since 2011*

WEB MAGAZINE Vol.



キックビートのコンセプトを濃縮継承したキックビート 55mmは、70mmでは攻めきれなかったシャローエリアやハイブレッシャー状況下のセレクトティブなターゲットに対し、出来るだけスローに長い時間アピールする事で口を使わせる事を可能にしたダウンサイジングモデル。キックビート 55は、ただサイズを小さくしただけではありません。ボディ形状、ウェイトバランスも徹底的に見直し、水揚げを少し抑え70mmのアクションより少しバုပ်振動を強く設定することで、小型サイズながら高い操作性とハイアピールを実現。ディゲームや水深のあるポイント、足場の高いポイントなどで、今までのバイブレーションやミノーでは攻めきれなかった場所を狙い打てる設計となっています。

**キックビート 70mm 20g 1,470円(税込)** ※030.033 産卵仕様カラー)のみ1,575円(税込)



**55mm  
新発売!**

**キックビート 55mm 12g 1,365円(税込)** ※030.033 産卵仕様カラー)のみ1,440円(税込)

# KICKBEAT

背中のあたりに最大の体高を持つ菱形の一般的なバイブレーションとは違い、キックビートはボディ後方上下にヒレを配し、後方に向かうにつれて体高が高くなる抽自設計。このシルエットこそ、キックビート最大の特徴である「水揚げの強い大きな波動」を生み出す秘密が隠されています。この独自のデザインを採用することで、「水平なスイム姿勢を保ち、かつ強い波動を出す」という従来のバイブレーションの形状では成立が難しかった矛盾点をクリア。水平姿勢を保ちながら強い波動でアピールできるため、ターゲットに違和感を与えずバုပ်に持ち込むことが可能です。また、ヒレが矢先の矢しりの役目を果たすことで飛行姿勢を安定させ、自重と相まって更なる飛距離を生み出します。

**2013 new color complete change!**

実践の中で生まれた“必然”。キックビートのカラーラインナップが一新します!



カラー(左1上から): 010 産卵イグニッション、022 フルーマイグニッション(シャイン)、024 ネタルレンズ、026 レンズキャンディー(産卵)、029 チョートパールオレンジ(パール)、031 アクアオレンジ(パール)、032 ブラックキャンディー(マフマ)、033 ゴールドレインボーオレンジ(パール)、034 グリーンゴールドイグニッション、035 ゴールド(マフマ)、036 ヒンクチャート(パール)、038 レッドヘッド(産卵パール)



# ルアーカラー考察

釣るために必要な要素のひとつ、カラーについて考える。

Text by 山内勝己

ゲームフィッシングとして確立されたシーバスゲームで確実に釣り続けて行くためには、的確なカラーセレクトをする能力が求められる。ここでは、ロンジンフィールドテスター山内勝己氏が経験から導きだしたカラーに対する持論を解説する。



## シーバスからの答えを求めて考えるのが楽しい!

私がメインとして楽しむ釣りは、ルアーでのシーバスフィッシングになります。このシーバスフィッシングの楽しみと言えば、やはり高いゲーム性があげられます。

これはシーバスに限らずどんな釣りにも共通すると思いますが、シーバスフィッシングには魚とのコンタクトを得るための過程として、一年間を通してのシーズンパターンや、フィールドに立っているその日その時の当たりパターンなどを、知識・経験・観察力などを用いてゲームを成立させようと考えます。これが魅力のひとつだと私は思っております。

フィールドに関する知識だけでなく、ルアーのアプローチやローテーション、カラーローテーションなど、釣るために考えなくてはならない要素はたくさん存在します。それらを考慮しながらゲームプランを自分なりに組み立てて答えを探す作業がこの釣りでは重要であると同時に、楽しみでもあるのです。



## シーバスが最も釣れるカラーとは?

そこで今回は私なりのカラーローテーションや、カラーへの考えを



書きたいと思います。

最も釣れるカラーとは？ という問いに対しての答えは、正直、人それぞれ様々な考えがあると思います。しかし、どのカラーが正解なのか、答えを知っているのは間違いなく魚だけでしょう！ ……と言うとこれでこの話は終わりになってしまうので、ここから先はあくまで私の考えとして聞いて下さい。

本当の答えはアングラーひとりひとりがフィールドに立ち、感じ、そして体験したことから導きだされるのだと私は思っています。今回書くカラー理論は、私の経験や様々なルアーテストなどを元にしたあくまでもイチアングラーとしての考えなので、シーバスフィッシングの楽しみの一つである「考えることの魅力」の一部の糧にして頂ければ……と思っております。



## 基本は色の持つ膨張率を使い分けること!

まず、カラーに対してシーバスは赤が好き、青が好き、緑が好き、または今日の気分は黄色かな？ など、人間の様に色を識別し色を選んでいる訳ではない（色覚は弱い）と思います。

では、カラーで何が違うのか?! それは色によって「膨張率」が違うので「シルエット」が異なって見えるのです。この二つの言葉の意味には繋がりががありますので、そこからお話ししましょう。

同じサイズのルアーであれば、白や黄色などのシーバスから見て膨張するカラーのシルエットはぼんやりと大きく、そして黒などの膨張



しないカラーはシルエットがしっかりと見えるため、膨張するカラーより小さく見えている（実際のルアーサイズよりという意味ではありません）と私は考えております。

シーバスがベイトを認識する方法のひとつである視覚だけを考えた場合の話ですが、シーバスがベイトもしくはルアーを見ているとき、周囲にはそれら以外の障害物がありますよね。それはキワであれば壁、海藻帯であれば漂う海藻になりますが、シーバスは決して視力が良い訳ではありませんので、その障害物とベイトやルアーは複合された大きなシルエットとなることが想像できます。

壁はもちろん動きませんが、海藻であれば流れや水の動きによって動きますよね。何が言いたいのかというと、周囲の障害物もシルエットと考えた場合、動かない壁より動く海藻の方がぼんやりとしたシルエットになるんです。

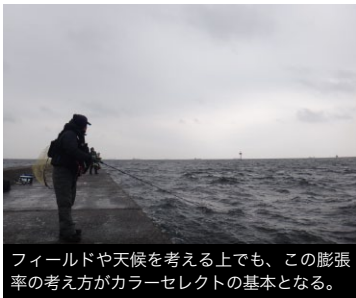
そういった場所にルアーを通す場合、動かない壁付近にはシルエットの膨張するカラー、逆に動く海藻の場合はシルエットのハッキリとした膨張しないカラーといったように、周囲の障害物のシルエットと反対のカラーを使用すれば、シーバスから認識しやすくなり、よりアピールすることが可能です。



黒はシルエットをはっきり目立たせるカラー。ロンジンでは黒にレインボーカラー+マグマホ口を加えることで、使用状況の幅を広く持たせている。

膨張色の代表的な色は白や黄色が上げられる。ここで上げてい  
る2色は、各シチュエーション  
でのフォローカラーとしても使  
えるので持っておいて欲しい。





ルアーのカラーは、このように周囲の障害物を考えセレクトすることが基本だと私は考えております。フィールドや天候、または水質などによってもカラーセレクトを考えますが、それらもこの膨張率の考え方を踏襲したものになっています。

フィールドや天候を考える上でも、この膨張率の考え方がカラーセレクトの基本となる。

## カラー+フラッシングで効果を倍増させる!

ここまでカラーそのものの話しをしてきましたが、ルアーにはカラー以外にフラッシングをアピールとする『ホログラム』があります。

ホログラムにもたくさんの種類が有り、ホログラムタイプによるフラッシングの強さや、ゴールド系とシルバー系とでも反応が違う場面も少なくありません。

デイゲームの場合、フラッシングはフィッシュイーターであるシーバスの捕食本能を刺激する事と、いかにベイトに近づけるかというイミテート、そしてルアーの存在をシーバスに気づかせる為のアピールカアップという意味があります。

逆にナイトゲームの場合、シチュエーションにもよるのですが水質

### ホログラムの種類とアピールの強さ (左へ行くほどアピールが強い)



シャインホロ

レンズホロ

スマッシュホロ

マグマホロ

※ここで述べているのはあくまでホログラムパターンだけを見た場合のアピールの強さ比較である





がクリアーに近く、街灯や満月の月明かりなど光量が多い場面ではフラッシングの力もあるかもしれませんが、基本的には先に書いた膨張によるシルエット効果と同じ役割も持つと私は考えています。

## フィールドの状況に合わせたカラーセレクト方法

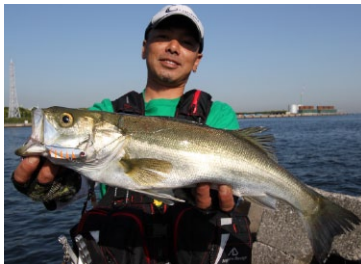
ここからはフィールドや天候、水質といった『フィールド状況』による私の基本的なカラーセレクト方法を解説します。

まず、カラーの種類を大きく分けて、パール系やチャート系、ゴールドなどの『アピール系』。シルバーのホログラムやメッキ、銀粉などの『フラッシング(ナチュラル)系』、シルエットがハッキリする『ブラック系』、そして水に馴染みやすいと言われている『クリアー系』の4種類を状況に合わせて使い分けています。

例えば広大なフィールドでシーバスを探す場合、雨や曇り空など光量の少ないときや水質が濁っている場面ではアピール系からキャストすることが多く、逆に水質がクリアーなときやメジャーポイントなど







で魚がスれていそうな場面ではナチュラル系からキャストする事が多いです。

ブラック系はデイゲーム、ナイトゲーム共にハマることが有ることと、スれている魚に強い場合が多いので必ずタックルボックスに入っているカラーです。

クリアー系も同じく、ナイトゲームやスれている魚に対してハマる場合が多いので、必ず持っていくカラーになります。

私がホームとしている千葉県には盤洲干潟があるのですが、このフィールドではクリアー系が強い場面が多いですね。その理由は、干潟ということもあり水質が綺麗な事が多く、月明かりが照らす光量が多いため水に馴染みやすいクリアー系が強いのだと思います。

話は少し逸れますが、フランキーにはクリアー系が二色あります。これはミノーには絶対にクリアー系が必要だと思い、標準のライン

#### デイゲーム (天候：晴れ、水質：クリア) オススメカラー



035:ギョーコ (メッキ)

030:銀粉イワシ (銀粉)

031:カタクチオレンジベリー (メッキ)

024:ボラ (レンズホコ)

#### デイゲーム (天候：曇り、水質：濁り) オススメカラー



グリーンゴールドイワシ (スマッシュ)

ピンクチャートベリー (スマッシュ)

033:ゴールドレインボーオレンジベリー (銀粉)

032:ブラックキャンディー (マグマ)



ナップに入れてもらいました。

カラーと言えば、今年6月にキックビートがカラーをガラッとリニューアルし、全12色のラインナップで新発売になりました。この新色にはコンセプトがあり、様々なシチュエーションでカラーローテーションをできることを第一に考えています。



もちろん実績のあるカラーを選んでおりますが、定番のレッドヘッドを始めとしてパール系、ホログラムを合わせたチャート系、そしてブラックもレギュラーに加えるなど、カラーローテーションによる使用範囲を大きく広げることが可能なラインナップになっております。

そしてカラーもですが、先に書いたシーバスの捕食スイッチを入れる大きな要素の一つとなる、フラッシング！ タイプやそれによる膨張率なども変えられるよう、ホログラムは4種類、そして新たにメッキ系も加えた魅力的かつ実践的な12色となっております。

### ナイトゲーム（水質：クリア） オススメカラー



029:ピンクチャートベリー  
(スマッシュ)

025:レンズキャンディー  
(銀粉ラメ)

022:ブルーマイワシレッド  
ベリー (シャインホロ)

032:ブラックキャンディー  
(マグマ)

### ナイトゲーム（水質：濁り） オススメカラー



029:チャートパール  
オレンジ (パール)

ピンクチャートベリー  
(スマッシュ)

033:ゴールドレインボー  
オレンジベリー (銀粉)

009:レッドヘッド (銀粉  
パール)



## 場所によっては理論だけでは通用しないことも……

シーバスゲームを楽しむ上では、ルーアーローテーションやレンジコントロールなどテクニ克的要素が高いものももちろん重要ですが、そこにカラーローテーションも加えて考えると、シーバスフィッシングのゲーム性がさら上がる



ので、より釣りを楽しむことができますよ！ ただし、ここで述べたことはあくまでも基本的なローテーションと考え（固定観念を持ちすぎてしまう事はかえってマイナスとなってしまいますので）、そこから大きな視野で自分なりの正解を探して頂けたらと思います。

ここまで、カラー理論や基本的なローテーションについて書きましたが、釣果に繋げるひとつの要素として、よく行くフィールドやこれから行こうと考えているフィールドならではの「当たりカラー」が存在することも多いです。基本的なカラーローテーションの中で、私はそれを探すことも忘れずにしています。

理論とはかけ離れてしまいましたが、釣行ポイントの当たりカラーの情報を調べていくことも釣果を大きく伸ばすためのひとつの方法です。それらを知ること、調べることが実際に釣果へ繋がることは多いので、色々な意味でカラーを知るといえるのは大切だと私は思っております。そういった準備を含めてシーバスフィッシングを楽しむことが、釣果に繋げる秘訣かもしれませんね！



### 山内勝己（やまうち・かつみ）

fimoアドバンス。千葉県河川や干潟をメインフィールドとする凄腕のシーバスアングラ。経験から培われた流れや地形の変化を読み取る高い能力をもとに、日々ランカーを求めてフィールドに通っている。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

# ロンジンマガジン Vol.2

弊社製品取扱店にて絶賛配布中です!



**LONGIN**  
We create the best fishing gear in Japan since 2011

**フランキー新登場!**  
おなじみのフランキーが、最新の改良品として登場!  
最新の改良品として登場!

**井上ゆうきが語る  
キックビートの魅力!**  
スペシャルインタビュー! ショールームに必要不可欠なバイブレーションとは、

下選手を本気でサポート  
トップウォーター  
ゲームのススメ  
これを知ればもっと釣れる  
ジョイントルアーで  
パチゲーム徹底攻略!

伊藤インタビュー  
製品開発物語②  
フランキー誕生秘話  
山内勝己ファーストインプレッション!  
欲しかったルアーは  
釣れるサーチベイト!

最新色30種類を含む  
2013年の最新色目録!

U.O.I.

フリーペーパー『ロンジンマガジン』第2号大好評配布中!

前号より大幅にボリュームアップした今号は、新製品フランキーのインプレや制作者・伊藤による開発秘話、ジンペンやプレックスを使った攻略法、そしてあの有名アングラー・井上ゆうきさんによるキックビートの解説も収録!

さらにロンジン全製品のカタログも掲載。カタログページではキックビートの2013新色ラインナップをWEBに先駆けて、いち早く紹介しています!

弊社代表の伊藤も愛読書としているロンマガ2号、ぜひ店頭にてお手に取って下さい!(ロンマガ1号はメーカー在庫切れしております。ご了承下さい。2号も在庫僅少です)

## ロンジンマガジン Vol.2

配布価格: ¥0 (フリーペーパー)

版型: A5版 24ページオールカラー

発行: 株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中  
(数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい)



**LONGIN**

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

# WEB MAGAZINE VOL.9

発行日：2013年6月26日

株式会社 LONGIN.